

当院のクリニカルパス バリエーション集計と活動実績の検討

一般財団法人 永頼会 松山市民病院
柚木 茂

はじめに

当院は2009年にクリニカルパス委員会を立ち上げ、クリニカルパスの運用、改善に取り組んできた。2017年から委員変更に伴い、新しく集計した内容を解析したので報告する

対象と方法

2017年4月から2019年4月まで毎月パスリンクナース会で報告されたクリニカルパスバリエーション（以後バリエーション）集計と活動実績報告を対象とし報告の内容を検討した。

バリエーション集計は任意で選択した2～3パスを1ヶ月間、電子カルテのバリエーション解析ツールで集計したものとし、活動実績は1ヶ月間に変更されたパスの内容とした。

バリエーション集計

バリエーション集計したパスと件数

科	パス数	件数	科	パス数	件数
内科	14	110	整形外科	9	48
外科	8	52	泌尿器科	8	45
眼科	5	38	循環器内科	5	32
形成外科	2	22	呼吸器外科	3	24
脳外科	2	22	糖尿病内科	1	4
			心臓血管外科	1	5

<クリニカルパス バリエーション集計>

期間：2019年3月1日～3月31日

パス名 白内障（2泊3日）

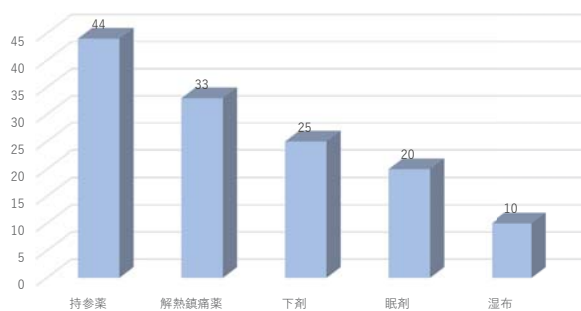
適応患者：10名 適応数：12件

	パス追加	未実施	未入力	小計	パス以外追加	未実施	未入力	小計	合計	内容
投薬	0	0	0	0	12	0	0	12	12	持参薬、鎮痛剤、胃薬
注射	0	0	0	0	2	0	0	2	2	造影剤使用後に生食500ml施注
処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検査	0	0	0	0	3	0	0	3	3	尿検査、頸胸腹部CT(造影)
看護	0	22	0	22	2	4	0	6	28	パス未実施：血管確保（ジェロコを使用したため）、シャワー（OP翌日は1人のみ施行、ENT日は全員未実施） パス以外追加：血管確保、清拭 パス以外未実施：清拭、入浴
合計	0	22	0	22	19	4	0	23	45	

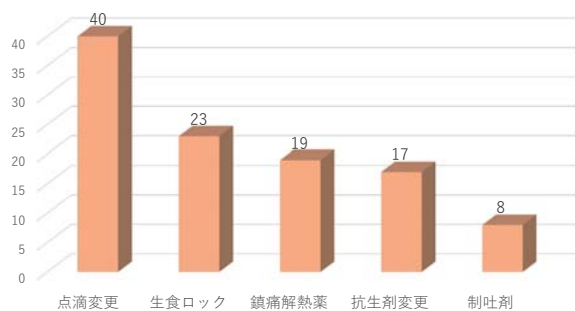
バリエーション集計内容の検討

投薬、注射、処置、検査、看護
の上位5項目を集計した

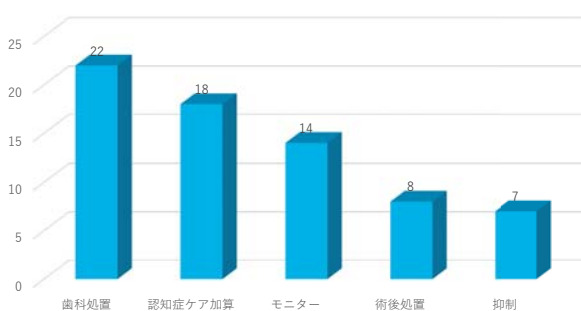
バリエーション集計(62パス)：投薬



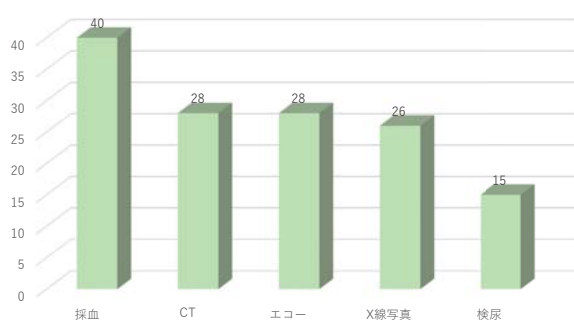
バリエーション集計(62パス)：注射



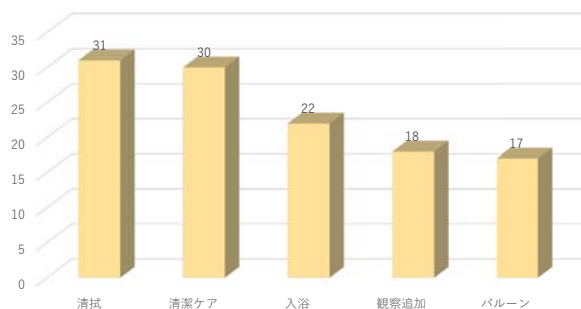
バリエーション集計(62パス)：処置



バリエーション集計(62パス)：検査



バリエーション集計(62パス)：看護



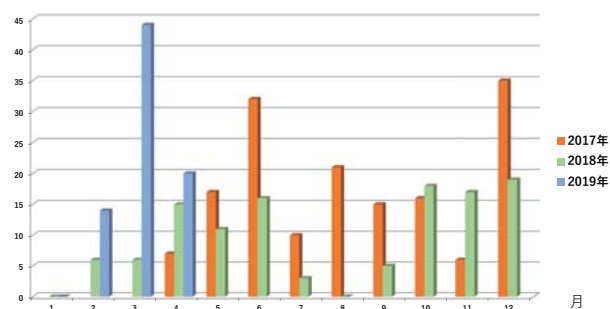
小括

投薬では持参薬、注射では点滴の変更、処置では歯科の処置、検査では採血、看護では清拭が半数以上のパスのバリエーションとなっていた。

パスの検討が必要と考えられた

リンクナース会で報告された活動実績の解析

パスの変更件数（総数 353 件）



バリエーション集計後変更されたパス(2017)

科	件数	パス
泌尿器科	4	前立腺 腎腫瘍 ESWL TUR-BT
消化器内科	3	ERCP RFA TAE
外科	2	ラパコレ 鼠径ヘルニア
呼吸器外科	2	VATS 肺癌
循環器内科	2	CAG PCI
整形外科	1	椎弓形成

バリエーション集計後変更されたパス(2018)

科	件数	パス
眼科	2	白内障2泊 白内障5泊
消化器内科	2	PEIT 肝生検
泌尿器科	2	f-TUR TUR-P
外科	1	胃瘻
糖尿病内科	1	教育入院
整形	1	椎間板
循環器内科	1	ペーサー
心臓血管外科	1	下肢静脈瘤

バリエーション集計後の変更割合

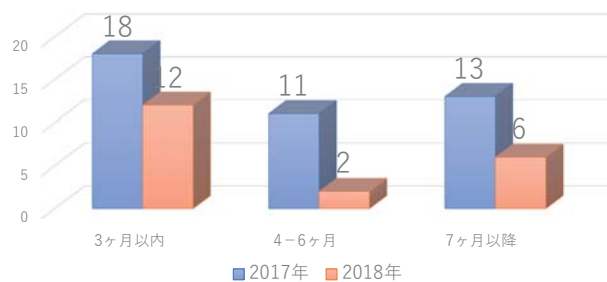
2017+2018年

62 / 353 (17.6%)

バリエンス集計後変更された項目

	2017年 (14パス)	2018年 (11パス)
薬	31	6
術後管理	5	8
食事	2	3
検査	2	1
その他	4	2

バリエンス集計から変更までの期間(全62カ所)



バリエンス集計を参考に変更されたパス

パス	変更項目	変更理由
CAG	尿道カテーテル留置を削除	パス未実施が14件/月あったので
PCI	尿道カテーテル留置を削除	パス未実施が14件/月あったので

考察

- バリエンス集計した半数以上のパスがバリエンスとなっている項目があり、検討が必要と考えられた
- バリエンス集計からパスが変更になった項目は62カ所あり、バリエンス集計をしてからその約半数が3ヶ月以内に変更されていた。バリエンス集計をすることでパスへの関心が高まり、短期間に変更できた可能性があった
- バリエンス集計を参考にして変更されたのは2カ所だけでPDCAサイクルが機能していない現状があり、今後の課題と思われる